

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2025年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			・用途によって使い分けができています。
	2	職員の配置数は適切である	6	2		・職員が足りないと感じる場面がある。部屋の使い方を工夫することで子ども達の安全確保に努めている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	1	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	1		・職員全員でPDCAサイクルを共有し、工夫はまだまだ必要だと感じる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	1	1	・意向を知ることで改善する必要があるものへの気付きになっている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3		・分からない。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4		・分からない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			・外部研修は少ないと感じる。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	1	・アセスメントシートは必要だと感じる。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8			・活動案を出してもらっている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1		・固定化しないように職員が工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	1	・細やかとは言えない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 職員一人一人の支援目標の確認はできている。 朝礼時に支援目標をそれぞれ発表するため「この職員さんは今日はこういう目標なんだな」と自然に役割分担ができている。 	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5		<ul style="list-style-type: none"> 翌朝の朝礼時に行うことが出来ている。 できる時とできない時がある。 翌日に行っているが、十分とは言えない。 毎日ではない。各自必要に応じて話し合い、個別支援の記入等行っている。 子ども達の変化や様子等について話す事があるが必ずではない。 	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援記録に関して、習慣化や持続が課題。 利用者によってバラつきがある。 	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1		<ul style="list-style-type: none"> 更新月のみ 	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		1		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					現在該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことがない。 	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 直接的な情報交換の機会を増やすとより連携できると感じる。 助言とまではいっていないように感じる。 	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		1	7		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 分からない。 	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	3	・相談にのることはできていると思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		1	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			・時間をとってよく対応してしていると思う。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	6	・分からない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			
	35	個人情報に十分注意している	8			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	5	・日頃の挨拶等、関係作りには努めている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2		・保護者に周知できているのか把握できていない。避難場所等引き渡しの共有はできていない。 ・防犯マニュアルは把握できていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	・家族との対応。医師の指示は受けていない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2025年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお 保護者等数（児童数） 12名回収数 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12			・外遊びもでき、室内でもいくつか部屋があるので各々に応じた活動ができるスペースが十分に確保されていると思う。	快適に過ごせるよう、スペースの確保や配置などにおいて、可能な限り工夫を行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1		・臨機応変にご対応頂けたりする職員数、専門性共に適切だと思う。	規定の人員を配置しております。職員の専門性を高める為に、内部・外部の研修等を通して自己研鑽に努めています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2			各部屋の入り口に名前やイラストを掲示し何を行う場所なのかを視覚的に分かる工夫をしています。現在、スロープや手すりの設置等、バリアフリー化はしていませんが、特性に応じた配慮を行っていきたいと思います。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	12				
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12			・いつも色々なプログラムを考えてくれてありがたい。活動計画を見て親の方が楽しみになったりしている。	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7	1	・固定した近くの公園以外にも離れた場所にある大きな公園などに良く連れ出してくれる。その際に施設以外の子どもとの触れ合いもあったりするようで「へー！」と思っている。	・公園への外出が地域の子も達との触れ合いの場となっていることがあります。・現在、交流する機会を設けていません。
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12			・細かにヒヤリングをしてくれ親子共々助かっている。課題についてもどうしたら伝わるのか、どうしたら改善していけそうかを常に考えてくれていてありがたい。	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			・不安定になってくる時期や調子が良くない時にさっと面談を提案してくれるのでとても助かっている。そして一緒に対応策を考えてくれるのでありがたい。	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	6	5	・保護者会等はないが、子ども達が仲良くすごせているので〇〇くんのお母さん！といった感じで学校等でお会いした時には話しやすい状況である。	現在、機会を設けていません。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			・その場で解決してもらえている事がほとんどなので、トラブルの苦情等子どもからきた事も無い。そして持ち越さないように対応してくれているお陰で子ども達同士も仲良くすごせているんだと思う。	
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12			・個別で（子どもからも）話を聞いてくれたり、忙しい中でもとても丁寧に対応してくれて、それを伝えてくれるのでありがたい。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		・会報やHPの連絡はとくになくても、いつでもどんな事をする、どんな所へ行ってどんな体験をする(した)は常に情報としてもらっているので不満はない。	・LINE@、Instagram、Facebookにて活動の様子をお伝えしています。また、事業所のホームページにて評価表の集計結果を掲載しています。・活動予定は月末にプリントを配布しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	12				
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	5			各マニュアルは作成しています。保護者の皆様にご説明させていただく機会を作るなどして対応してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12				
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12			・近頃は年齢が上がった事もあり、したい遊びが友達と異なってきたので家の方が、という事もあるが土曜日等たくさん遊べる日はとても楽しみにしている。	
	18	事業所の支援に満足しているか	11	1		・本当にいつも助けてもらっている。先生方のお陰で私の心も平穏を保てる部分が大きい。ありがとうございます！	お子様一人一人の成長に繋がるよう今後も努めていきたいと考えています。

○この「保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイサービス えがお		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年11月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室があるため、子ども達の遊びや活動に合わせて対応が可能である。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの設定活動や遊びに応じて使用できるため、一人一人の活動が保障できている。また、長期休みの際には児童発達と放課後等デイサービスの空間分けをすることで、環境的配慮を行っている。 ・朝の5分間清掃、サービス提供時間後の清掃で生活空間を清潔に保っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に過ごせるようスペースの確保や配置などにおいて、可能な限りの工夫を行う。また、視覚的な支援を取り入れ、理解しやすい環境設定を行う。 ・今後も清掃、消毒、定期的な環境の点検に取り組む。
2	活動プログラムが固定化しないように、子ども一人一人に合わせた多様な活動プログラムを提供し、柔軟に対応できる。	毎月、職員が活動案を出し合い、活動プログラムを立てている。また個別支援計画に基づいた支援を、子どもの発達状況や困りに合わせて一対一で行っている。	さらなるきめ細やかな支援が提供できるように、目標設定と振り返りを丁寧にを行い、個々のペースに合わせた支援に取り組むことで、成功体験を積み重ねていけるよう努める。
3	SNSを通じて事業所の活動をお伝えすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・多数のご家庭からLINE@を使用した、毎日の活動写真を喜んでもらえており、連絡が取りやすいツールを使っての迅速な対応で相談がしやすいというお声をいただきました。 ・活動の楽しそうな様子を写真でお伝えしながら、保護者との関わりを大切にしている。 	今後も継続して活動の様子をお伝えし、保護者に喜んでもらえるように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルは作成し、訓練は行っているが、保護者の方へのマニュアルの周知は行き届いていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は年に2回行っているが地震や火事を想定した物が中心となっており、職員間でも事故防止及び発生時対応マニュアルについての確認周知は行えていない為、改善するべきである。また、緊急時の引き渡し場所等の保護者周知も徹底はされていない。 ・避難訓練に参加ができていない子どもに対して、今後は活動にとりいれながら災害時の備えをする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルについて、保護者の皆様にご説明させていただく機会を作り、引き渡し場所の周知を徹底する。 ・事故防止マニュアルに防犯対策についての内容を取り入れる。 ・職員間で必要な訓練を検討し、実行する。 ・子どもに災害や事故防止の意識を持ってもらえるように、活動に取り入れる。
2	保護者同士や地域住民との交流が少ない。	現在、交流機会は設けていませんが、保護者の方からのご要望があれば、検討していきます。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者相談日等を活用し、保護者の声の汲み取りをしっかりと行う。 ・地域清掃や公園へ出かける際に、出会った人との関わりを大切にする。
3			

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2025年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		・個室があるため、子ども達の遊びや活動に合わせて不自由なく使用できている。各部屋の使用時間は職員の配置に合わせて決められている。 ・用途に応じて使い分けられている。
	2	職員の配置数は適切である	8		・職員の休憩や送迎時に人手が足りない時がある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		・朝の5分間清掃、子ども達が帰ってからの清掃で情報共有をしながら使用した場所は特に清潔に保っている。 ・定期的に玩具の点検を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8		・会議でふり返りを行っている。 ・現在色々進めてくれている。 ・会議を活用してもっと細かく情報共有し、職員全員でPDCAサイクルを意識できるように工夫をするべき。 ・保護者等の意向等の把握に努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	・分からない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	・分からない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		・保護者面談でニーズをよく聞いて情報共有が出来ていると思う。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	・保護者相談もツールとして使用している。アセスメントシートも大切になってくるのかもしれない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		・日々、支援を行うにあたって、個々の支援目標を各職員が意識できるように支援計画の共有にまだ工夫が必要だと思う。 ・支援計画を意識できるように会議で発信する機会を増やした方が良いと思う。スモールステップを考えていくべきだと感じる。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		・活動案を出してもらっている。もっと発信をし合って組み立てをしっかりと行っていきたいと思う。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・職員1人で活動の内容を考え担当をする日もあれば、ペアで活動内容を考える日もあるので、意見交換をしながらよりよい工夫ができています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		・指先の練習、ことばの練習など子どもに応じて個別支援に取り組んでいる。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	・できる時とできない時がある。朝礼の時間に確認できている。 ・職員一人一人の支援目標の確認ができています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	・できる時もある。情報共有は意識している。 ・当日の打ち合わせはできていない為、ケース記録を記入、活用を行いたい。 ・翌日の朝礼で行うことができている。 ・翌日に行っているが十分とは言えない。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		・支援記録、記入の習慣化や持続に課題がある。 ・記録はもっと丁寧に行う事も大切だと感じる。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8			
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		
		22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	1	
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在該当なし	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			現在該当なし	
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8			
27		他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	5	・助言と言われるとできていないように思う。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	6	
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4	・分からない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	4	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		8	・分からない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・積極的な保護者相談日の実施。 ・モニタリング、担当者会議以外でも保護者相談日を設定して対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・子どもの特性に合わせて絵カードを作ったり、ジェスチャーを用いて声掛けをしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	・日頃の挨拶等、関係作りには努めている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1	・保護者への周知はまだ不足だと感じる。 ・保護者にマニュアルを周知できているのか、把握できていない。避難場所等引き渡しの共有はできていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に事前に確認をしている。 ・アレルギー確認をして対応できている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表： 2025年2月1日

事業所名 児童デイサービスえがお

保護者等数（児童数）10名 回収数 人割合 90%

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9				・公園に行ったり広い施設で良い。	快適に過ごせるよう、スペースの確保や配置などにおいて、可能な限り工夫を行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	9				・子どもの事を良くみている。 ・職員の人数も十分で、いつもよく子どもを見てくれていると思う。	規定の人員を配置しております。今後も職員の専門性を高める為に、内部・外部の研修等を通して自己研鑽に努めています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9				・生活しやすい空間ができている。	各部屋の入り口に名前やイラストを掲示し何を行う場所なのかを視覚的に分かる工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	1			・とてもきれいで清潔である。	・毎日、施設内外の清掃・消毒を行っています。 ・活動で使用した教材等の点検・消毒を行っています。 ・活動に応じて使用する部屋を分けています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8		1		・今の状況と自宅での様子を話し計画が立てられている。 ・どの先生も子どもの事をよく見てくれていて外での子どもの様子を教えてくれるのでありがたい。 ・うまく計画を作成してくれていると思う。	ニーズに合わせた読みやすい文章の作成、分かりやすい支援内容の説明に務めてまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	1			・短期目標と長期目標が有るので、理想までの課題が想像しやすい。	保護者相談日や関係者の方々との面談（アセスメント・モニタリング等）の機会を通し、一人一人に合わせた目標達成の為に支援に日々取り組んでいます。計画の変更等のご要望は、いつでもご相談ください。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9				・季節に合わせた様々な活動があり、活動をしている子どもの様子を見てこちらも楽しませてもらっている。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	3		現在、交流する機会は設けていません。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7		1	1	・現状を話し、目標までの段階を行うことができている。 ・家族支援プログラムというのはわからないが、客観的な視点での子どもの様子など先生方から教えてもらう事で子育ての助けになっていると思う。先日の担当者会議でアドバイスをもらったので意識して対応している。	保護者相談日の機会を設けています。ご希望がございましたら、いつでもご相談ください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	9				・子どもも、理解することができている。 ・日頃から伝えることができている。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9				・面談してもらっている。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		1	7		現在、機会を設けていません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9				・LINEなど、連絡を取りやすいツールを使って頂けているので、相談しやすい。 ・迅速に対応して頂けている。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	1		・毎日、写真と一緒に日誌報告があるので嬉しい。	・LINE@、Instagram、Facebookにて活動の様子をお伝えしています。また、事業所のホームページにて評価表の集計結果を掲載しています。・活動予定は月末にプリントを配布しています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8		1			各マニュアルは作成しています。保護者の皆様にご説明させていただく機会を作るなどして対応してまいります。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8		1			避難訓練は年に2回の訓練が義務づけられており、今年度は9月に実施しています。次回は3月に計画をしています。ご利用日によっては避難訓練に参加ができていない子どもさんもいらっしゃいますので、今後は活動にとりいれながら災害時の備えをしていきたいと思っております。
満	22	子どもは通所を楽しみにしているか	9				・「楽しい！」と言っている。 ・いつも楽しく行っている。	ありがとうございます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
足 度	23	事業所の支援に満足しているか	9				・仕事等でお弁当を忘れてしまったり私の不注意でのミスなども手助けして頂けている。	

○この「保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	児童デイサービス えがお		
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日		～ 令和6年11月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室があるため、子ども達の遊びや活動に合わせて対応が可能である。	・子どもの設定活動や遊びに応じて使用できるため、一人一人の活動が保障できている。また、長期休みの際には児童発達と放課後等デイサービスの空間分けをすることで、環境的配慮を行っている。 ・朝の5分間清掃、サービス提供時間後の清掃で生活空間を清潔に保っている。	・快適に過ごせるようスペースの確保や配置などにおいて、可能な限りの工夫を行う。また、視覚的な支援を取り入れ、理解しやすい環境設定を行う。 ・今後も清掃、消毒、定期的な環境の点検に取り組む。
2	活動プログラムが固定化しないように、子ども一人一人に合わせた多様な活動プログラムを提供し、柔軟に対応できる。	毎月、職員が活動案を出し合い、活動プログラムを立てている。また個別支援計画に基づいた支援を、子どもの発達状況や困りに合わせて一対一で行っている。	さらなるきめ細やかな支援が提供できるように、目標設定と振り返りを丁寧に行い、個々のペースに合わせた支援に取り組むことで、成功体験を積み重ねていけるよう努める。
3	SNSを通じて事業所の活動をお伝えすることができる。	多数のご家庭からLINE@を使用した、毎日の活動写真を喜んでもらっており、連絡が取りやすいツールを使っての迅速な対応で相談がしやすいというお声をいただきました。 ・活動の楽しそうな様子を写真でお伝えしながら、保護者との関わりを大切にしている。	今後も継続して活動の様子をお伝えし、保護者に喜んでもらえるように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルは作成し、訓練は行っているが、保護者の方へのマニュアルの周知は行き届いていない。	・避難訓練は年に2回行っているが地震や火事を想定した物が中心となっており、職員間でも事故防止及び発生時対応マニュアルについての確認周知は行っていない為、改善するべきである。また、緊急時の引き渡し場所等の保護者周知も徹底はされていない。 ・避難訓練に参加ができていない子どもに対して、今後は活動に取り入れながら災害時の備えをする必要がある。	・マニュアルについて、保護者の皆様にご説明させていただく機会を作り、引き渡し場所の周知を徹底する。 ・事故防止マニュアルに防犯対策についての内容を取り入れる。 ・職員間で必要な訓練を検討し、実行する。 ・子どもに災害や事故防止の意識を持ってもらえるように、活動に取り入れる。
2	保護者同士や地域住民との交流が少ない。	現在、交流機会は設けていませんが、保護者の方からのご要望があれば、検討していきます。	保護者相談日等を活用し、保護者の声の汲み取りをしっかりと行う。 ・地域清掃や公園へ出かける際に、出会った人との関わりを大切にする。
3			